

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 松井 義隆		
共創-18	実施事業	国際交流推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化人権課(文化人権推進課)
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	多文化共生社会	施策の方針	多文化共生社会の推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを進めるため。
効果	行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流や国際協力をテーマとした講座を開催した。</li> <li>国際交流フェスティバルを開催した。市と市民団体が連携し、市と団体及び団体間でのネットワーク化や情報の共有化を図った。</li> <li>外国籍市民からの要望を受け、市民通訳ボランティアを派遣した。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	301	814		当初予算(千円)	5,054		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	301	814		一般財源	5,054		
	人員配置数	0.5	0.5		人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	3,784	3,778		人件費(千円)	3,896		
事業運営	総事業費(千円)	4,085	4,592		総事業費(千円)	8,950		
	市民1人当りの経費(円)	23	26		市民1人当りの経費(円)	51		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 国際交流・協力団体連絡会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて来鎌する外国人が増加することから、さらなる市民のホスピタリティ向上を図るとともに、外国籍市民へのサービス向上に努めなければならない。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国のホストタウン構想に基づく国際交流事業を、過剰な経費をかけずに、手づくり感のあるおもてなしを心がけ、相手国の関係者の要望に合わせながら実施していく。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催控え、国際交流への市民のニーズは増大していくことから、市民と協働しながら、充実させていく。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時多言語支援センターの設置に向けた検討</li> <li>・ホストタウン構想に基づく国際交流事業についての検討(事前キャンプを行う相手国未確定)</li> </ul>	
課題解決のために行った平成29年度の取組	フランスセーリングチームと事前キャンプに関する協定の準備をすすめた。 平成30年8月10日に市民通訳ボランティアの研修会を開催した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時多言語支援センターの設置に向けた検討</li> <li>・フランスセーリングチームと事前キャンプに関する協定の締結及びフランスを相手国とするホストタウン登録。ホストタウンに基づく国際交流事業の実施。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	国際交流フェスティバルの規模(参加団体数)					単位	団体	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
当該事業の最大イベントであったが、イベントの規模を測る指標であるため。	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0			
	実績値	20.0	17.0	18.0	17.0					
	達成率	100.0%	85.0%	90.0%	85.0%					

指標の内容	市民通訳ボランティアの活動実績(派遣回数)					単位	回	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
国際交流の担い手となることから、活動件数が事業の推進状況と比例するため。	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	20.0	50.0			
	実績値	0.0	3.0	7.0	1.0					
	達成率	0.0%	60.0%	140.0%	20.0%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	国際交流フェスティバルについては現状維持を、市民通訳ボランティアについてはその活動を幅を拡げ国際交流事業の担い手として活動の10倍増を図る。
-----------------------	--